

# 株主のみなさまへ

第106期 中間報告書 [平成26年1月1日～平成26年6月30日]



具  
体  
化  
。

## CONTENTS

株主の皆様へ	1
中期経営計画「ペガサス」	2
事業別の概況	3
トピックス	5
連結財務諸表	7
会社概要	9
化学のチカラで ひとつひとつカタチへ。	10

昭和電工株式会社

証券コード 4004



## 第106期の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 市川 秀夫

当上期の国内経済につきましては、前半は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もあり、個人消費の増加に加え企業収益が改善するなど堅調に推移しましたが、後半は駆け込み需要の反動減がみられました。また、海外経済につきましては、米国、欧州を中心とする先進国は回復しており、中国は緩やかな拡大が続いていますが、新興国では勢いを欠く状態がみられました。

このような状況の中、当上期の連結営業成績につきましては、売上高は、石油化学部門はエチレン生産設備の大型定期修理に伴う減産により減収となりましたが、他の5部門は主に販売数量が増加したことにより、総じて増収となりました。営業利益は、石油化学、無機、アルミニウムの3部門は減益となったものの、主にエレクトロニクス部門においてレアアース磁石合金の改善やハードディスク事業が堅調に推移したため、

総じて増益となりました。これを受け経常利益は、増益となりましたが、四半期純損益は、投資有価証券評価損の計上に加え法人税等の増加により損失となりました。

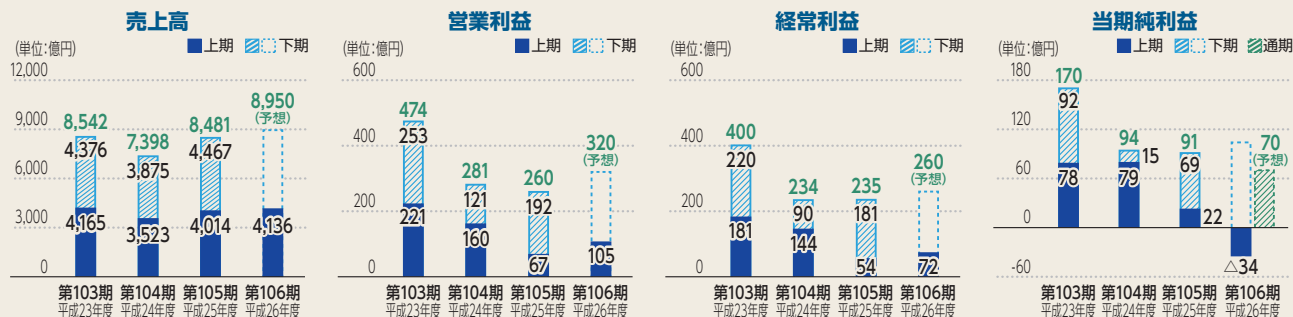
中間配当につきましては、成長戦略推進のため見送ることとさせていただきますが、株主の皆様への還元等を目的に、本年8月1日から11月28日の期間で自己株式を取得することを決定いたしました。

当下期につきましては、国内の景気の先行きについては緩やかな回復をたどるものとみられますが、原燃料価格高騰の影響、米国における金融緩和政策の縮小による影響が懸念されるなど、予断を許さない事業環境にあります。

当社グループは、中期経営計画「ペガサス」の後半2年間の計画PhaseⅡを本年よりスタートしております。「グローバル市場で特徴ある存在感を持つ化学企業」の確立に向け、ハードディスクと黒鉛電極を両翼とする成長戦略を推進するとともに、新たに「成長」事業に位置づけたアルミ缶、高純度アルミ箔、高純度ガス、機能性化学品を中心に、伸長するアジア市場での展開加速等、さらなる事業強化を進めてまいります。

株主の皆様にはおかれましては、何とぞ格別のご理解をいただき、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 連結業績ハイライト



# 中期経営計画「ペガサス」PhaseⅡ

当社グループは、中期経営計画「ペガサス」(2011年-2015年)の後半2年間の計画であるPhaseⅡを本年よりスタートしております。

ここでは、「ペガサス」の両翼2事業および「成長」4事業の状況を中心にご報告いたします。

## ①「ペガサス」両翼2事業の状況

### ハードディスク

ハードディスクドライブの出荷は堅調

- Windows® XPサポート終了による買い換え需要は新興国を中心に下期も継続
- データセンター向け主力記録媒体として今後拡大

### 黒鉛電極

世界の需給バランスは2015年から改善

- 昭和電工カーボン(米国)の生産能力増強工事が本年中に完工
- 大町事業所、四川昭鋼炭素有限公司(中国)の生産性を向上

## ②「成長」4事業のアジア展開

### 高純度アルミ箔

中国 ▶▶▶ 電解コンデンサーの需要拡大による生産能力の増強(2015年1月)



昭和電工鋁業(南通)有限公司(中国)

### 高純度ガス

韓国 ▶▶▶ 高純度亜酸化窒素の拠点新設(2015年1月)

中国 ▶▶▶ 高純度アンモニアの生産設備増強(2014年1月)

台湾 ▶▶▶ 高純度塩素事業の買収(2014年8月)



浙江衢州巨化昭和電子化学材料有限公司(中国)

### アルミ缶

ベトナム ▶▶▶ アルミニウム製缶メーカーを子会社化(2014年5月)

### 機能性化学品

中国・ASEAN ▶▶▶ 自動車、住宅設備向け事業拡大



不飽和ポリエステル樹脂

## ③「新規(育成)」事業の進捗

### リチウムイオン電池材料

次世代自動車用大型リチウムイオン電池向け供給体制の整備

- 負極材SCMG®の新グレード量産開始
- アルミラミネートフィルムの生産能力増強完了(2014年7月)

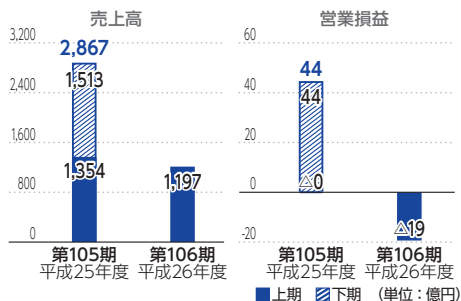
### SiCエピタキシャルウェハー

パワー半導体向け6インチ品の量産開始

- 用途拡大(ハイブリッド車、電気自動車等)にあわせた品質の向上、生産能力の増強

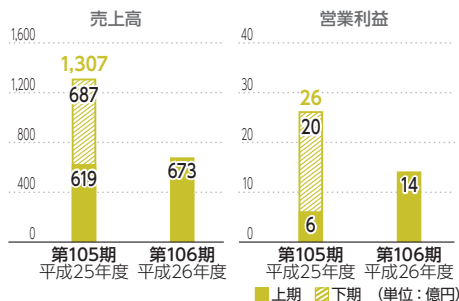
## 石油化学部門

オレフィン事業は、4年に1度実施するエチレン生産設備の定期修理の影響による販売数量の減少により減収となりました。有機化学品事業は、酢酸ビニル等の販売数量増加により増収となりました。



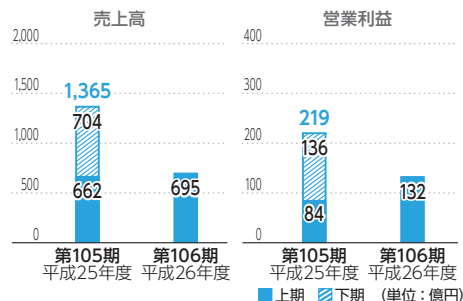
## 化学品部門

基礎化学品事業は、液化アンモニアの売上は前年同期並みとなりましたが、アクリロニトリルは市況の上昇により、クロロプレングムは輸出の増加により、それぞれ増収となり、総じて増収となりました。産業ガス事業、機能性化学品事業は、主に販売数量の増加により増収となりました。また、情報電子化学品事業は、海外向け半導体用高純度ガスの販売数量の増加により増収となりました。



## エレクトロニクス部門

ハードディスク事業は、パソコン向けなどの販売が堅調に推移し小幅に増収となりました。電子機能材事業は、レアアース磁石合金は磁石業界の生産調整が一巡し販売数量が増加したため増収となり、化合物半導体は販売数量の増加により増収となりました。



27.5%  
石油化学  
部門

15.5%  
化学品部門

16.0%  
エレクトロニクス  
部門

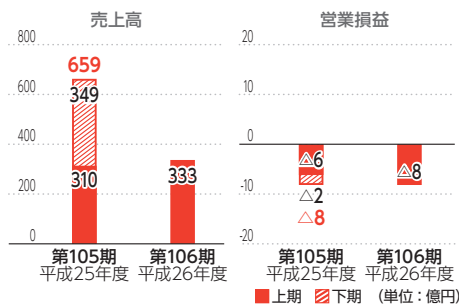
7.7%  
無機部門

10.5%  
アルミニウム  
部門

22.8%  
その他部門

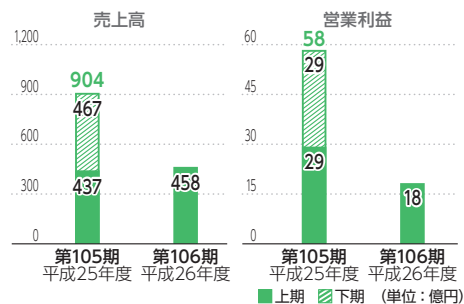
## 無機部門

黒鉛電極事業は、アジア地区における鉄鋼の供給過剰の影響を受けましたが、米国、日本では鉄鋼需要が緩やかに回復し、販売数量が増加し増収となりました。セラミックス事業は、研削材等の販売数量が増加し増収となりました。



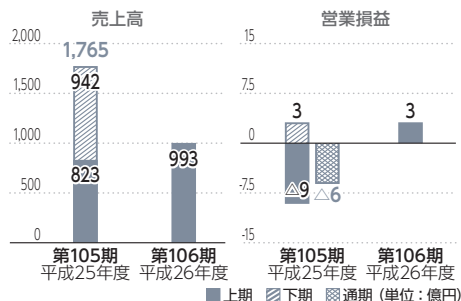
## アルミニウム部門

アルミ圧延品事業は、電解コンデンサー用高純度箔は、顧客の生産が増加したことによる販売数量の増加により増収となりました。アルミ機能部材事業は、自動車向け部材等の販売数量の増加により増収となりました。アルミ缶事業は、販売数量の減少により減収となりました。



## その他部門

リチウムイオン電池材料は、スマートフォン、タブレット向けに加え車載用も販売数量が増加し増収となりました。昭光通商株式会社は、主に海外関連事業が増収となりました。



## 東アジアでの需要拡大にあわせ、半導体用高純度ガスの供給体制を強化



半導体用高純度ガス

### 2014/1 化学品部門 中国の高純度アンモニア製造拠点の増強を完了

浙江衢州巨化昭和電子化学材料有限公司(浙江省)は、年間生産能力を1,000トンから2,000トンに引き上げ、運転を開始いたしました。

### 2014/2 化学品部門 高純度亜酸化窒素の韓国拠点新設

当社と韓国の株式会社斗岩産業は、高純度亜酸化窒素の委託生産に関する契約を締結し、精製設備を共同で立ち上げ、2015年より販売を開始する予定です。

### 2014/4 化学品部門 液化アンモニア「エコアン」 福島・相馬港 物流基地の運営再開

当社は、東日本大震災による被害からの再建工事を進めていた液化アンモニアの物流基地を、東北アンモニアセンターとして再開し、東北・新潟地区における一層の安定供給体制を構築いたしました。



東北アンモニアセンター

## 安心安全な食料の 安定的な供給を実現する 植物工場の普及



「SHIGYO®ユニット」  
(イメージ)と  
栽培棚



### 2014/4 エレクトロニクス部門 沖縄県の手製パンメーカーの 植物工場に採用

当社の植物育成用LED照明と高速栽培技術「SHIGYO®法」が、株式会社ぐしけんが運営する完全閉鎖型植物工場に採用されました。

### 2014/6 エレクトロニクス部門 山形県の大規模植物工場に採用

当社の植物工場ユニット「SHIGYO®ユニット」が、遠藤商事株式会社が運営する屋内設置型の大規模植物工場に採用されました。このユニットは、高速栽培技術「SHIGYO®法」と、LED照明やアルミニウム製栽培棚など、野菜栽培に必要な設備をパッケージにしたシステムです。

2014

1

2

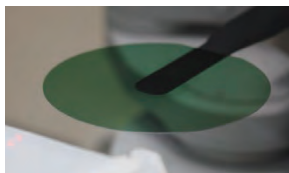
3

4

■ 石油化学部門 ■ 化学品部門 ■ エレクトロニクス部門 ■ 無機部門 ■ アルミニウム部門 ■ その他部門

2014/6 半導体産業新聞主催  
「半導体・オブ・ザ・イヤー 2014」で  
グランプリを受賞

当社のパワー半導体用6インチSiCエピタキシャルウェハーが、半導体電子材料部門でグランプリを受賞いたしました。当社品を用いたパワー半導体は、電力制御用モジュールの小型化・省エネルギー化につながることから、データセンターのサーバー電源や地下鉄車両等への搭載が進んでいます。



6インチSiCエピタキシャルウェハー

2014/6 石油化学部門  
新製法を用いた酢酸エチルの  
生産設備が稼働



酢酸エチルプラント

当社は、大分コンビナートにおいて、エチレンに酢酸を直接付加する当社独自技術による酢酸エチルプラントを竣工させ、生産を開始いたしました。

2014/5 アルミニウム部門  
ベトナム  
アルミニウム製缶メーカーを子会社化



当社と昭和アルミニウム缶株式会社は、ベトナムのアルミニウム製缶メーカーの株式91.75%を取得し、子会社化いたしました。今後、需要伸長が予想されるベトナム市場での事業拡大を図ってまいります。

Hanacans Joint Stock Company (ベトナム)

6

当社のネットワーク

国内と海外に広がる  
ネットワークで个性的な製品を  
安定的かつタイムリーに供給しています

5

国内



海外



**連結貸借対照表**

(単位：百万円)

科目	当中間期 平成26年6月30日現在	前期 平成25年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>355,452</b>	<b>374,599</b>
現金及び預金	54,871	68,250
受取手形及び売掛金	148,051	156,090
たな卸資産	118,087	120,156
その他	34,679	30,358
貸倒引当金	△236	△256
<b>固定資産</b>	<b>611,048</b>	<b>611,172</b>
有形固定資産	501,703	494,087
無形固定資産	14,649	10,960
投資その他の資産	94,696	106,125
投資有価証券	73,432	78,688
その他	21,775	27,969
貸倒引当金	△511	△531
<b>① 資産合計</b>	<b>966,500</b>	<b>985,771</b>

(単位：百万円)

科目	当中間期 平成26年6月30日現在	前期 平成25年12月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>338,772</b>	<b>346,945</b>
支払手形及び買掛金	111,572	124,194
借入金・社債・コマーシャルペーパー	154,967	137,876
その他	72,233	84,875
<b>固定負債</b>	<b>317,119</b>	<b>293,016</b>
借入金・社債	242,467	215,811
退職給付引当金	17,091	20,310
その他	57,560	56,895
<b>負債合計</b>	<b>655,891</b>	<b>639,961</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>253,174</b>	<b>261,050</b>
資本金	140,564	140,564
資本剰余金	62,221	62,221
利益剰余金	50,540	58,414
自己株式	△151	△149
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>37,177</b>	<b>40,161</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>20,257</b>	<b>44,599</b>
<b>純資産合計</b>	<b>310,609</b>	<b>345,811</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>966,500</b>	<b>985,771</b>



## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで
売上高	413,606	401,409
売上原価	361,065	354,598
売上総利益	52,541	46,811
販売費及び一般管理費	41,999	40,089
営業利益	10,542	6,723
営業外収益	3,376	3,742
営業外費用	6,708	5,078
経常利益	7,210	5,387
特別利益	1,092	1,538
② 特別損失	5,779	2,825
税金等調整前四半期純利益	2,524	4,099
法人税等	5,448	1,248
少数株主損益調整前四半期純利益又は純損失(△)	△2,924	2,852
少数株主利益	509	694
四半期純利益又は純損失(△)	△3,433	2,158
一株当たり四半期純利益又は純損失(△)	△2.29円	1.44円

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	11,298	17,076
③ 投資活動による キャッシュ・フロー	△30,599	△27,345
財務活動による キャッシュ・フロー	6,167	8,167
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1,462	3,190
現金及び現金同等物の 増減額	△14,595	1,088
現金及び現金同等物の 期首残高	68,175	51,254
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	996	1,249
合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	12
現金及び現金同等物の 四半期末残高	54,575	53,604

## ■ 連結決算対象会社

連結子会社数：47社

持分法適用会社数：14社

## POINT

### ① 資産合計

石油化学部門においてエチレン生産設備の大型定期修理に伴う売上債権の減少等により、前期末比193億円の減少となりました。

### ② 特別損失

ベネズエラのアルミニウム製錬会社について投資有価証券評価損40億円を計上したこと等により、前年同期比30億円の増加となりました。

### ③ 投資活動によるキャッシュ・フロー

黒鉛電極等の設備増強、Hanacans Joint Stock Companyの株式取得等により、前年同期比33億円の支出増となりました。

■ 会社概要 (平成26年6月30日現在)

社 名 昭和電工株式会社  
 英 文 社 名 Showa Denko K.K.  
 本 社 〒105-8518 東京都港区芝大門一丁目13番9号  
 電話(03)5470-3111(総務グループ)  
 設 立 昭和14年6月  
 資 本 金 1,405億64百万円  
 従業員数(連結) 10,458名  
 ホームページ <http://www.sdk.co.jp/>

■ 役員 (平成26年6月30日現在)

取締役・監査役

代表取締役会長	高橋 恭平	執行役員	水野 義治
代表取締役社長兼社長執行役員	市川 秀夫	執行役員	Robert C. Whitten
代表取締役副社長兼副社長執行役員	坂井 伸次	執行役員	中條 哲夫
取締役兼常務執行役員	鯉沼 晃	執行役員	西村 嘉介
取締役兼執行役員	福田 俊司	執行役員	水谷 温
取締役兼執行役員	天野 賢	執行役員	石川 二郎
取締役兼執行役員	武藤 三郎	執行役員	上口 啓一
※取締役	秋山 智史	執行役員	高崎 完二
※取締役	森田 章義	執行役員	田仲 均
常勤監査役	野村 一郎	執行役員	新井 龍晴
常勤監査役	坂本 明	執行役員	河村 伸彦
※監査役	手塚 裕之	執行役員	田中 淳
※監査役	小原 之夫	執行役員	森川 宏平
※監査役	齋藤 聖美	執行役員	稲泉 淳一
		執行役員	竹内 陽一

(注) ※印の取締役および監査役は、社外役員であります。

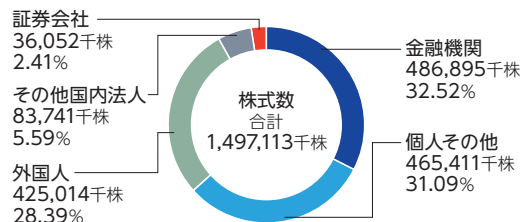
■ 株式の状況 (平成26年6月30日現在)

発行可能株式総数 ..... 3,300,000,000株  
 発行済株式総数 ..... 1,497,112,926株  
 株主数 ..... 98,973名

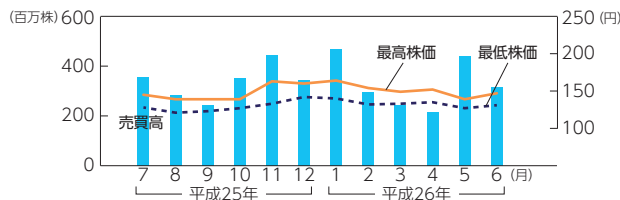
■ 上位10名の株主 (平成26年6月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	59,078	3.95
富国生命保険相互会社	55,168	3.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	50,849	3.40
第一生命保険株式会社	36,000	2.40
株式会社損害保険ジャパン	30,068	2.01
明治安田生命保険相互会社	26,447	1.77
昭和電工従業員持株会	24,590	1.64
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	24,526	1.64
JUNIPER	21,896	1.46
日本生命保険相互会社	20,063	1.34

■ 株式の所有者別状況 (平成26年6月30日現在)



■ 株式データ



# 化学のチカラで ひとつひとつカタチへ。



## 拡大するベトナム市場での「具体化。」～アルミ缶事業

### ○ 日本初のアルミ缶専門メーカー ○

当社の100%子会社である昭和アルミニウム缶株式会社は、1971年に日本で初めてビール用のアルミ缶を製造販売して以来、密封性や変わらぬおいしさを保つ安定性、光沢を活かしたデザイン性など優れた特性を活かし、国内のビール・飲料メーカーのご要望にマッチした製品を提供し続けています。



国産第1号の  
アルミ缶



国内各社へ様々なアルミ缶を提供

### 資源循環型社会の形成に貢献

現在の消費社会において包装容器には、より経済的なリサイクル性が求められています。アルミ缶は、リサイクルに適した容器であり、当社グループでは、40年以上にわたり、リサイクル活動に取り組んでいます。



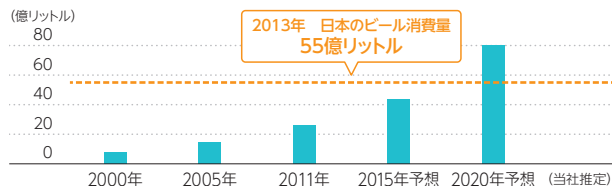
### ○ 拡大するベトナム市場へ ○

近年、国内のビール・飲料缶市場は、少子高齢化等により成熟化が進み、アルミ缶事業についても、国内市場だけでは今後大きな拡大が望めない状況にあります。

そのため、海外の成長市場として、現在、東南アジア最大のビール消費国であり今後も高い成長が期待されるベトナム市場へ進出することを決定し、本年5月に現地アルミニウム製缶メーカーを子会社としました。同社がもつ強固な販売基盤に加え、今後、昭和アルミニウム缶株式会社がもつ先進的な生産技術と高度な品質管理体制を導入することで、ベトナム市場でのさらなる競争力強化を図ります。



### ● ベトナム・ビール生産量予想



## 各種IRツールのご紹介

当社は、半期毎の報告書「株主のみなさまへ」、アニュアルレポート(英文)やCSRレポート等の各種IRツールを通じて、株主の皆様を始めとする多くの皆様に当社グループの事業活動をご理解いただけるよう努めております。

各種IRツールにつきましては、当社WEBサイトでご覧いただけます。



## 株主メモ

**事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで  
**定時株主総会** 3月  
**株主確定基準日** (1) 定時株主総会・期末配当 12月31日  
 (2) 中間配当 6月30日

その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

**公告方法** 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。  
 公告掲載URL  
<http://www.sdk.co.jp/>

**単元株式数** 1,000株  
**株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社  
**同事務取扱場所** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 (郵便物送付先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話お問い合わせ先) TEL. 0120-288-324

## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いいたします。株券電子化前に「[まふり] (株式会社証券保管振替機構) へ預託されていなかった株主様については、株主名簿管理人である左記のみずほ信託銀行株式会社の口座(特別口座といいます。)で管理させていただいております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話お問い合わせ先へお願いいたします。

未払配当金については、株主名簿管理人に加え、株式会社みずほ銀行の全国本支店でもお手続きいただけます。

## ご案内

当社は、「単元未満株式の買増制度」を導入しております。1単元(1,000株)に満たない株式をご所有の株主様は、単元未満株式と併せて1単元になる株式を買増請求することができます。お手続きなどの詳細については、当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)へお問い合わせください。  
 なお、単元未満株式の買取請求につきましても、お取扱いいたします。



適切に管理された森林資源を用紙の材料にしています。



IPA (インプロピルアルコール) 等の有害物質を含む「湿し水」を使わない水なし印刷を採用し、VOCの発生を大幅に削減しています。



VOC (揮発性有機化合物) の発生が少ない、ベジタブルインクを使用しています。



色覚の個人差を問わず出来るだけ多くの方に見やすいユニバーサルデザインにしています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。